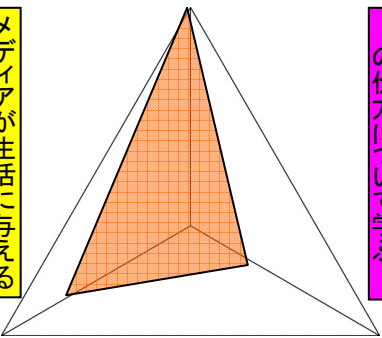


パッケージ名	あなたは、どっち派？電子と紙を比べよう（小学校5・6年，1単位時間）
実践のねらい	・コンピュータと紙で書かれたものを比べ、それぞれの特徴がわかり、それを考えて使うことができる。
この実践のメディアについて学ぼう	メディアの特性と適切なメディアの選択の仕方について学ぶ 
	実践の意図 ○想定する子どもの状況 ・調べて、まとめて、伝える活動では、いくつかの情報手段を使った経験はあるものの、これらの特徴を意識せずに使っている。 ・効果的な情報手段の活用ができるようにするためには、知識としてその特徴を整理する必要がある。 ○パッケージの目標 ・コンピュータと紙に印刷されたものの特徴について比べ、目的にあった情報手段を選択する力を養いたい。 ○留意点 ・コンピュータや本などを使って調べたり、まとめたり、伝えたりした経験をもとに学習を進めるとよい。

受 = 情報の受け手としての知識を得る・配慮を知る
 送 = 情報の送り手としての工夫・配慮を知る

I. コンピュータ派なのか紙派なのか、自分の立場を明らかにする（5分）

- **調べたこととまとめて、伝える学習があります。あなたは、コンピュータ派ですか。それとも、本や画用紙に書くなどの紙派ですか。**
 まず始めに、自分はどちら派なのか、意思表示をさせるとよい。その後、どうして、○○派なのか、そのわけを尋ねるようにする。

II. それぞれの特徴について、個人で表にまとめる（10分）

- **それぞれの特徴をまとめてみましょう。**
- 受 ワークシートの観点にそって、自分の考えを書く。書き方がわからない子どもがいると予想されるので、一部分は全体で指導した後に、個人活動に入るとよい。
- 送 具体的な場面が思い出せるように、今まで学習した経験を引き出すような言葉をかける。

WS: 特徴についてまとめる 1

III. 特徴について話し合う（15分）

- **どんな特徴が考えられますか。意見交換をしましょう。**
- 受 子どもたちと情報手段の表を完成させる過程で、経験談を引き出し、情報手段の特徴としてまとめる。
- 送 調べる・・・情報量 情報の鮮度 情報の信憑性、まとめる・・・やりなおしが可能か 伝える・・・距離 双方向性 対面等

WS: 見ながら発表する

IV. その他の情報手段の特性についても話し合う（10分）

- **電話、新聞、テレビには、どんな特徴がありますか。**
- 受 その他の情報手段の特徴に意識を広げる。
 教師主導で話し合いを進める。

WS: その他の情報手段の特性 2

V. 本時を振り返る（5分）

- **あなたは、どちら派ですか。本時の学習をもとに考えたことをまとめてみましょう。**
 振り返りカードに本時の学習を記入する。
- どちらかの派に属してもよいが、それぞれの情報手段の特徴を理解しているのかを子どもの発言や振り返りカードの記述から本時の学習の理解度を評価する。

WS: 本時を振り返る 3